

茨木市産業振興ビジョンの概要

【総合計画】

茨木市第4次総合計画(平成17年3月)

【基本理念】

希望と活力に満ちた文化のまち いばらき

【産業の都市像】

活力あふれる「生活躍動都市」

本市の特色(強み)

○交通利便性

- ・大阪と京都の中間にあり、鉄道(JR・阪急・モノレール)の利便性が高い。
- ・高速道路や主要幹線道路による交通アクセスが優れている。
- ・新名神高速道路の建設事業により、交通利便性の向上が見込まれる。

○人口の増加

- ・良好な住環境が評価され、人口が緩やかに増加している。

○昼間の人口流入

- ・市内の事業所や大学に、市外から多くの従業者や学生・生徒が訪れる。

○大学等研究機関の集積

- ・市内や隣接市には大学等の研究機関が複数立地している。
- ・大阪大学や追手門学院大学など産学連携に力を入れている大学がある。
- ・彩都ライフサイエンスパークには、公的研究機関をはじめ、ライフサイエンス関連企業の研究拠点が集積している。
- ・彩都の中部地区では、ライフサイエンス関連をはじめとする様々な業種の研究開発・生産機能の立地が見込まれる。

本市の課題(弱み)

(1)事業活動と関わりの深いもの

- 厳しい経営環境
- ・売上高や利益が減少している事業所が多い。
- 価格競争の激化
- ・長びく不況や経済の国際化により、価格をめぐる競争が激しくなっている。
- 操業環境の悪化
- ・周辺環境の住宅化で操業の難しくなった事業所が増えている。
- 事業所数の減少
- ・ほとんどの業種で事業所数が年々減ってきている。

(2)市民の暮らしと関わりの深いもの

- 中心地のにぎわい
- ・市の中心地に人が集まって楽しめる機会が少ない。
- 商店街の集客力の低下
- ・商店街の利用者が減少している。
- 商店街の地域貢献
- ・古くに市街化された地域では高齢化が進んでいる。
- 地元産農産物の販売
- ・地元産農産物は販売機会が少なく、出荷価格が不安定である。

(3)産業の活性化と関わりの深いもの

- 事業所に対する認知度不足
- ・市内のお店や企業があまり知られていない。
- 人材の確保
- ・多くの事業所で従業者の確保に苦労している。
- 人材育成の仕組みの整備
- ・従業者の成長に必要な教育が十分にできない。
- 支援策に関する情報発信の不足
- ・産業支援に関する情報が市内事業者には伝わっていない。

Something New

【産業振興の方向】

つながりを大切に こたわりとがんばりで 新しい価値の創造を目指す

【産業振興に向けた重点取組】

1. 市内産業の付加価値と活力の向上

市内の事業所が減少傾向にある中で、市内で事業の継続や新規立地を望む事業者が円滑に事業活動を営むことは、本市における雇用や地域経済の維持・発展にとって非常に重要。
厳しい事業環境の変化に対応しつつ、事業活動の価値向上に努力する事業者、新規立地や開業を目指す事業者を積極的に応援。

- ◆事業活動の価値向上
 - ・付加価値の高い事業を生み出す取組の促進
 - ・事業者の環境配慮に関する取組の促進
- ◆創造的機能の集積と企業立地の促進
 - ・事業活動における創造的機能の集積促進
 - ・企業活動への支援と立地促進
- ◆起業の促進と成長支援
 - ・新規開業者の創業促進と成長支援

2. 市民の快適な暮らしや地域社会を支える機能の充実

産業と住宅が共存する複合機能都市として発展を続ける本市において、産業には、心豊かで快適な市民の暮らしや地域社会を支えていくことが求められている。
まちのにぎわいや高齢化が進む地域社会への対応など、住宅地としての魅力を高める機能の充実を目指す。

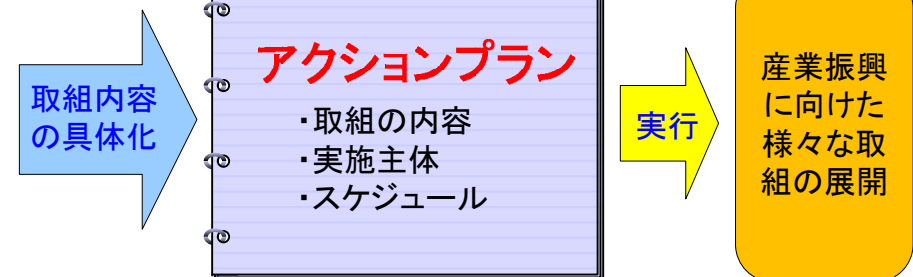
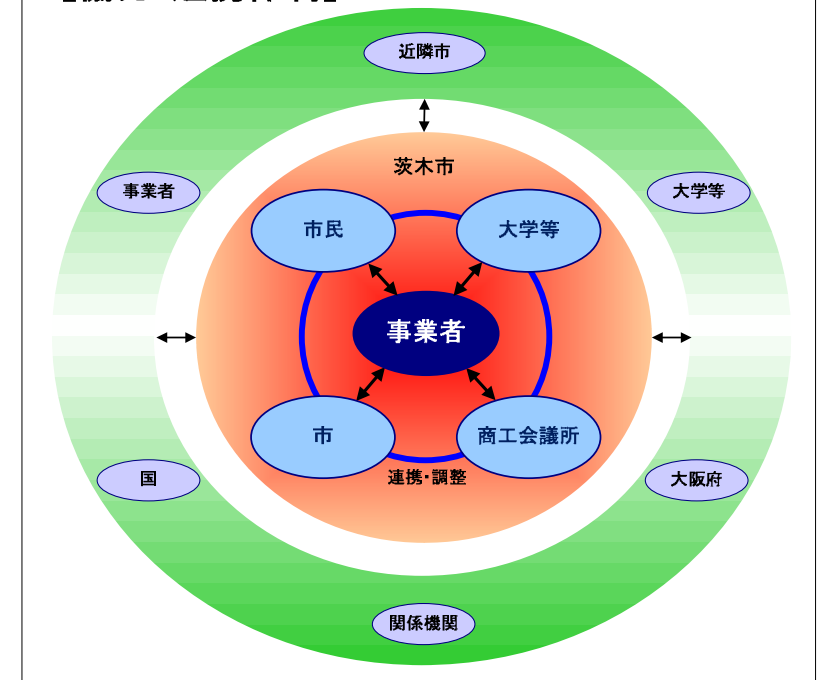
- ◆まちのにぎわい創出
 - ・魅力ある個店の創出促進
 - ・人を呼び込む仕掛けづくり
 - ・市内産業の情報発信の強化
- ◆地域の生活支援と快適性の向上
 - ・生活支援サービスの提供支援
 - ・快適性を高める環境の整備
- ◆地元産農産物の流通の促進
 - ・販売機会の拡充支援
 - ・農商工連携の推進
 - ・農産物の安全性の確保支援

3. 産業を活性化させる基盤づくり

産業の活性化には、人と人、人と事業所、事業者同士など様々なつながり(連携)が何よりも大切である。また、事業活動の発展には、いかに有用な情報を的確に入手するかが重要。
つながりを生む機会や産業関連の情報、事業活動に対する専門的な支援などを充実させるとともに、継続して提供。

- ◆連携の促進
 - ・産業に関わる交流機会の創出
 - ・市内産業を知る機会の拡充
- ◆人材の確保と育成
 - ・就労希望者と企業との接点拡大
 - ・企業OB人材の活用
 - ・企業の成長を支える人材育成の支援
- ◆支援機能の充実
 - ・利用者の視点に立った産業支援関連情報の提供
 - ・専門的支援機能の充実と相談機能の強化

【協力・連携体制】



【進捗管理】

- ・産業振興ビジョンの実現に向けたアクションプランは、事務局が中心となって推進。
- ・個別の取組を計画的に進め、取組の進捗状況を管理するため、取組ごとに目標指標を設け、その現状や達成度合いを把握。
- ・数値目標などの指標で評価できない取組については、成果や実施上の問題点などを幅広くつかみ、分析。